

Ⅲ 文化活動の状況

ここは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

平成2年10月1日現在

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 年 団 体	ボーイスカウト ガールスカウト 福生市連合育成会	森 田 治 男	人 295	ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、 シニア隊、ローバー隊 福生第1団 訓練活動(キャンプ) 福生第2団 東京191団 奉仕活動、リーダー研修
青 年 団 体	福生市青年団体 連絡協議会	綿 貫 和 男	人 70	加盟団体 4 若い市民の講座、サークル活動補助 情報活動
成 人 団 体	福生市文化連盟	小 林 菊 三	人 2,900	加盟団体 79 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生ホタル保護 研 究 会		人 18	玉川上水に発生するホタルの保護 及び調査
	福生市公立小中 学校PTA連合会	高 水 清 安	人 6,231	加盟団体 10 球技大会、講演会、非行化防止パトロール
	福生市体育協会	設 楽 清 一	人 4,700	加盟団体 17 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育大会 都民体育大会

2. 文 化 祭

第 2 1 回 市 民 文 化 祭

(市 制 2 0 周 年 記 念)

(1) 趣 旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展をはかる。
- ② 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化連盟

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化連盟役員
- ② 出展、出演団体の代表者
- ③ 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館、図書館職員

(4) 期 日

1 1 月 3 日 (土) ・ 4 日 (日) ・ 5 日 (月)

1 0 日 (土) ・ 1 1 日 (日) ・ 1 7 日 (土)

(5) 場 所

展示関係 — 市民会館、公民館、福祉会館、中央図書館、その他

演示場所 — 市民会館大、小ホール、その他

(6) 運営方針

- ① 同種目については主管団体が処理する。
- ② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、新種目を行う団体は、その団体が主管し個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ① 市民の活動であること。
- ② 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民（在住、在学の個人及び団体）とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要項の決定

② 開場式 11月3日(土) 午前9時30分

市民会館小ホール

③ 準備過程

ア. 広報 (ア) 公募 7月25日発行のお知らせ

申込締切 8月13日

(イ) 日程内容の周知

広報 10月15日

ポスター 10月中旬 250部

日程表の配布 10月中旬 8,000部

(小中学生及び主管団体)

(ウ) プログラムの作成と配布 3,000部

イ. 案内状 総合プログラムと一緒に実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

ウ. 主管団体必要物品

(ア) 指定様式に記入提出

(イ) その他必要品

エ. 役員委嘱

実行委員に委嘱状を交付する。

オ. 委託料の交付

750,000円

(10) 実行委員会日程

第1回 8月15日(水) 午後7時30分 市民会館4・5集会室

第2回 8月29日(水) 午後7時30分 展示関係 商工会館

第3回 9月5日(水) 午後7時30分 演示関係 市民会館4・5集会室

第4回 9月27日(木) 午後7時30分 合同 市民会館4・5集会室

第5回 10月17日(水) 午後7時30分 合同 市民会館4・5集会室

(1) 実施内容

平成2年度参加団体

演 示	99団体	行政関係	1団体
展 示	63団体	行政関係	4団体 個人9人
計	176団体	個人	

※ 期間中の延一般入場者数 約7,000人

3. 成 人 式

(1) 趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし成人者が改めて成人する意味、意義を確認し合う場として、また今後は、社会の担い手として、独立した主体者として生活して行くための機会とする。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会

(3) 期 日

平成3年1月15日 開式午前11:00 福生市民会館大ホール

(4) 実施内容

式典前演奏 トランペットとピアノ演奏

浅海伸夫氏と篠崎愛恵氏

式 典 開式、君が代 主催者あいさつ

祝辞 来賓紹介 主催者紹介 祝電披露 謝辞 閉式

成人者	937人	出席者	516人
-----	------	-----	------

男	472人	男	236人
---	------	---	------

女	465人	女	280人
---	------	---	------

出席率	55.1%
-----	-------

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市は、昭和37年以来、任期2年、定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般に亘る、調査、研究、計画の立案及び教育委員からの諮問に市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申する機関です。

(1) 会議開催状況

開催日	会場	会議名	内容
平成2年5月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	平成2年度社会教育計画（案）について " " 関係予算について " " 関係団体の補助金について
7月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	都市社連協第一ブロック研修会について 平成2年度関東甲信越静 社会教育委員研究大会について
9月	五日市町役場 会議室	社会教育委員 連絡協議会	社会教育の諸条件を整えるために 「生涯学習推進にあたって社会教育施設の 課題」
8月	土浦市市民会館	全国社会教育委員 連合会	ゆたかな生涯学習社会の形成をめざして 社会教育委員としてどうかわっていくか
10月	商工会館	社会教育委員会議	正副議長の選出について 宿泊を伴う研修会について
11月	八王子ぎたのタウン ビル8階会議室	社会教育委員 連絡協議会	社会教育諸条件を整えるために 「生涯学習振興法を考える」
11月	都内	社会教育委員会議	委員の視察研修
12月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	委員研修について 都市社連協会議について
平成3年1月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	平成3年度社会教育計画について
2月	蕨崎市役所	社会教育委員会議	蕨崎市の生涯学習について
3月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	平成3年度社会教育委員視察研修について

5. 文化財保護事業

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができます。本市では、昭和48年に文化財保護条例の制定、そして昭和54年の改正によって保護行政の充実と強化をはかりました。現在、21件1,840点の文化財を市指定文化財として保護するとともに、他の文化財については文化財総合調査を実施し、所在の確認と記録の作成を行っています。

文化財、自然の保護は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものであることから、意識の高揚と文化財を活用するための様々な学習の機会の設定に取り組み、実施しました。また、今後、益々進行すると思われる地域の都市化及び生活様式の変化にともなう文化財の消失等に対処するため、文化財総合調査を早急に実施し、貴重なものを市指定文化財として保護するとともに、資料の収集と保存をあわせて実施しています。

(1) 文化財事業方針

- ① 市内の貴重な文化遺産を市文化財に指定して保護する。
- ② 文化財総合調査の実施により所在の確認と記録の作成を行う。
- ③ 調査の成果は、報告書等によって公表し、市民の学習、研究活動等に活用する。
- ④ 市民の文化財、自然に対する学習の機会を保障する。
- ⑤ 市民の文化財、自然に対する保護、活用等の活動に対し、奨励、援助、指導等を行う。
- ⑥ 破壊、消失されつつある文化財を収集し保存する。
- ⑦ 郷土資料室において文化財、自然の保護、保存、活用等のための普及事業を実施する。
- ⑧ 行政事務担当における事務等の整備、確立をはかる。

(2) 郷土資料室の事業

市立中央図書館内郷土資料室で文化財、自然の保護と活用を目的とした次の事業を行いました。

- ① 資料の収集
- ② 資料の整理・保管
- ③ 資料の調査・研究
- ④ 資料の展示・教育普及

(3) 文化財保護事業の実施状況

① 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 植物調査

市内に現存する植物種を確認し、福生市における植物相を明らかにすることを目的に昭和49年度から実施している調査です。すでに樹木・竹類・草本類・シダ・コケ類については調査が終了し、2年度は名木調査を行いました。

- ・主任調査員 宮岡一雄(市文化財保護審議会委員、明治大学教授)
- ・調査員 立川愛雄、橋本宏典、増沢 直、日比野経子、赤松直子、大宮 剛、
酒井 啓、青木賢人、河野一弘、矢野由貴子

(イ) 石造遺物調査

石を用いて作られた文化財の調査は、既に板碑、石仏の調査を終了し報告書を刊行しています。当年度より新たに発足した本調査は墓石の調査ですが、特に江戸時代中期以前に自然石に仏像を刻んだ舟型光背の墓石を調査対象として行いました。

- ・調査員 増沢 直、西脇智弥、佐島 健

(ウ) 民具調査

郷土資料室で収蔵している民具の調査を主として行っていますが、当年度においては、桶屋の製作用具の調査を行いました。

- ・調査員 岡部悦子、田野倉紀子

(エ) 森田文庫調査

森田文庫調査は、昭和59年度より三年計画で調査を行い、調査の結果を62年度に文化財総合調査報告書第20集『森田文庫資料目録』として刊行しましたが、その後、解題の作成、森田友昇編著書及び作品の調査を実施しています。2年度も前年度に引き続き調査を行いました。

- ・調査員 安田吉人、倉島利仁

(オ) 古文書調査

古文書調査は、既に『福生市文書目録Ⅰ』(総合調査報告書第4集)を昭和50年度に刊行し、『福生市文書目録Ⅱ』(総合調査報告書第18集)を昭和59年度に刊行しており、いわゆる文献史料調査は大体において終了しています。当年度は、郷土資料室へ寄託された古文書の分類と整理及び史料筆写を行いました。

(カ) 動物調査（昆虫調査）

市内に現存する昆虫種を確認し、福生市における昆虫相およびその分布を明らかにすることを目的として、昭和61年度より実施した調査です。但し、昭和61年度は本調査を開始するための準備期間としたため、実質的な調査は昭和62年度から開始しました。野外での調査は昨年度で終了し、今年度はまとめとして市内分布種の目録作成を行いました。

- ・主任調査員 栗原 仁（市内小学校教諭）
- ・調査員 遠藤宇一郎、大村信一、鈴木和子、橋本典弘

(キ) 埋蔵文化財確認調査

埋蔵文化財包蔵地 第4号遺跡内での土木工事（公共施設の建て替え）に伴う確認調査を実施しました。

- ・確認調査地番 福生市福生1058-11
- ・開発面積 998.90㎡
- ・確認調査期間 平成3年8月15日
- ・発掘担当者 和田 哲
- ・調査補佐員 福生市シルバー人材センター会員

② 調査報告書の刊行

(ア) 文化財総合調査報告書第23集『福生の民俗－民具Ⅰ ミキノクチ』の発行。ミキノクチは正月に神棚に飾る信仰の用具ですが、市内で製作されるミキノクチを中心として多摩地域および他府県のミキノクチを製作方法の記録を目的に報告書としてまとめました。発行部数は1000部です。

(イ) 文化財総合調査報告書第24集『福生の名木』の発行。昭和58年度から市内に分布する名木の悉皆調査を行い、そのデータを基に写真集の形でまとめました。発行部数は3000部です。

③ 郷土資料室の運営事業

(ア) 資料の収集

市広報紙（郷土資料室だより）による協力の呼び掛け等によって民俗資料等の収集を行いました。

- ・収蔵件数（寄贈、採集、購入等） 34件

(f) 資料の保管

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）の薫蒸消毒を業者委託により行いました。実施期間は平成2年3月6日より3月9日までの間です。消毒の概要は次のとおりです。

場 所 郷土資料室第1収蔵庫（320 m³） 第2収蔵庫（92 m³）

対象資料 民俗、歴史、美術、自然資料

方 法 エキボン（酸化エチレン14％、臭化メチル86％）によるガス化薫蒸消毒
くん蒸消毒時間 48時間

目 的 殺虫、殺菌、殺卵

消毒効果 終了後の財団法人文化財虫害研究所による薫蒸処理効果判定の結果は殺虫、殺卵、殺カビ効果 100パーセントでした。

(g) 展示、講座等、教育普及事業

A 特別企画展示

“ちりめん本と草双紙～十九世紀後半の日本の絵本” 展示期間 平成3年2月1日～3月30日

草双紙は、各頁に挿絵が収められたやさしい読みもので、江戸時代後期以降、庶民に読書の喜びを与え続けました。一方、ちりめん本（欧文章双紙）は、明治初期に外国の出版社と日本の出版社が共同で刊行した和本ですが、日本の昔噺などを題材にして英訳、仏訳、独訳など多数の外国語に訳され草双紙の出版技術を用いて印刷されています。これら19世紀後半の美しい書籍の中から日本の文化と庶民の文化許容の状況を探ってみることが企画の意図です。

展示資料

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| (1) 娘金平昔絵双紙 | (10) 琴声美人録 | (19) 与謝武郎恋夜語 |
| (2) 修紫田舎源氏 | (11) 女郎花色石台 | (20) 与話情浮名横櫛 |
| (3) 御詠染遠山鹿子 | (12) 遊仙沓春雨草紙 | (21) 童謡妙妙車 |
| (4) 恵土錦廓春風 | (13) 白縫譚 | (22) 北雪美談時代加賀見 |
| (5) 新編金瓶梅 | (14) 侠客伝仵模略記 | (23) 新增補西国奇談 |
| (6) 旗飄菟水葛葉 | (15) 足利絹手染紫 | (24) 西行法師一代記 |
| (7) 朧月猫の草紙 | (16) 咲替舜日記 | (25) 明鶏墨画廻り襦袢 |
| (8) 釈迦八相倭文庫 | (17) 弓張月春廻宵栄 | (26) 金鈴善悪譚 |
| (9) 教草女房形気 | (18) 仮名反古一休草紙 | (27) 五人殲苦魔物語 |

- | | | |
|------------------|-------------|----------------|
| (28) 河内山網代乗物 | (41) 猿蟹合戦 | (54) 鉢かづき |
| (29) たゝとる山のほとゝぎす | (42) 花咲爺 | (55) 文福茶釜 |
| (30) 百文二朱寓骨牌 | (43) かちかち山 | (56) 竹箆太郎 |
| (31) 奇妙図 | (44) 嵐の嫁入り | (57) 羅生門 |
| (32) 近世奇跡考 | (45) こぶ取り | (58) 化けぐも |
| (33) 善知安方忠義伝 | (46) 浦島 | (59) お団子ころりん |
| (34) 椿説弓張月 | (47) 八頭の大蛇 | (60) 猫の絵をかいた小僧 |
| (35) 南総里見八犬伝 | (48) 松山鏡 | (61) ちんちんこばかま |
| (36) 仮名文章娘節用 | (49) 因幡の白兎 | (62) おゆちゃさん |
| (37) 続膝栗毛 | (50) 野干の手柄 | (63) 日本の古典詩歌選集 |
| (38) 西洋道中膝栗毛 | (51) 海月 | (64) 和本仕立カレンダー |
| (39) 桃太郎 | (52) 彦火火出見尊 | |
| (40) 舌切雀 | (53) 俵藤太 | |

B 特別展示

a “バードカービング展” 期間 平成3年7月25日～9月10日

夏休み期間中ということもあり、子供が興味をもちやすい展示内容ということからバードカービング展を行いました。内容は日本の野鳥のバードカービング41点の展示です。また、展示するにあたっては種名の他に個々の生息環境および市内での生息の有無等を明示しました。資料製作および提供は市内在住の造形作家成川治氏です。

b “ボタニカルアート展－4” 期間 平成2年9月12日～10月14日

日常気に止めることもないような植物たちも、じっくり観察するとそれぞれに趣のある美しさをもつものです。これらの植物の美しさを知ることにより、植物への関心を喚起してもらうため、62年度事業「初心者植物画講座」受講者による自主サークル「SASAの会」の資料提供により、福生市の野草を中心に植物画を展示する企画をシリーズ化しています。今までは市内でみられる野草を季節ごとに紹介してきましたが、今回はサブタイトルを「樹々に躍る妖精」とし、樹木に咲く花を紹介しました。

c “ミキノクチ 小正月の飾り” 期間 平成3年1月5日～3月30日

小正月の飾りの一つで、神棚に供える御神酒徳利の口を飾るミキノクチを、福生市内をはじめ多摩地域を中心に全国から収集し展示を行いました。

C 常設展示

テーマ “福生の成り立ちと人々の歩み” 期間 昭和63年4月1日～平成元年3月31日

昭和54年4月の開館以来、常設展示のテーマは“福生市の成り立ちと人々の歩み”であり、この展示主題のもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成しています。各分野のテーマは、歴史分野が“福生の成り立ちと歴史を学ぼう”、民俗分野が“福生の民俗とくらしを学ぼう”、自然分野が“多摩川の自然を学ぼう”です。常設展示は小・中学生対象に設定しており、展示スペースが大テーマに比して狭少であることから、各分野の展示テーマは“……学ぼう” “……さぐろう” “……観察しよう”といった問題設定の形式を取り、観覧者の関心を呼び起こすことをねらいとしています。

D 講座、学習会

a 古文書学習会（初心者） 期間 5月26日～6月23日（全5回・昼間）

古文書の読解をとおして地域の歴史をさぐり文化財の保護に理解を深めていただくことが学習会開催の趣旨です。例年実施している学習会ですが今年は玉川上水に関わる古文書をテキストとして行いました。

・指導 福生古文書研究会

b 古文書学習会（上級者） 期間 5月26日～2月17日（全10回・夜間）

古文書学習をすでに行っている方を対象として比較的に読解の困難な古文書に習熟出来るよう企画した学習会です。読解資料として書簡を用い、地域史学習の深化をはかりました。

・指導 福生古文書研究会

c 初心者バードカービング教室 期間 9月22日～11月24日（全9回）

バードカービング製作をとおし、自然に対する関心を喚起することを狙いとししました。内容は3種の野鳥の中から製作を希望するものを選び、それを期間中に完成させることとしました。

・指導 成川 治氏

d 夏休み子供学習会「魚の生態を知ろう」 期日 7月27日

マグロの大回遊水槽や海浜プールなどの最新施設で人気の高い葛西臨海水族園を見学することにより、魚類の生態を理解することを目的として企画しました。なお、前日の説明会と同時にパネルやスライドを使って予め基礎知識を習得しました。対象は市内在住の小学4～6年生です。

・指導 郷土資料室職員

e 史跡見学会 期日 6月2日、6月23日(全2回)

江戸時代前期に江戸市民の飲料水の確保を目的に開削された玉川上水が福生市内を流下していますが、市内には開削時の工事跡や開通後、新たに掘り替えたために残された旧堀跡などの貴重な史跡が残存しています。これらの史跡の見学を通して地域の歴史像を探ること、さらに文化財の保護に改めて関心をもっていただくよう実施しました。

f 講演会「ちりめん本と昔噺」 期日 11月10日

特別企画展「ちりめん本と草双紙」開催にあわせて講演会を開催しました。

・講師 アン・ヘリング氏(法政大学教授)

E 出版物

a 特別企画展解説資料「チリメン本と草双紙」(図録、B5、44頁)

b 「郷土資料室年報 X ・ 資料収蔵目録 X 」(B5、54頁)

F 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、団体及び研究者等への情報の提供や印刷援助等を行いました。

(4) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、福生市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために8人の委員が委嘱されています。

① 会議の開催

平成2年7月7日 玉川上水旧堀跡の史跡指定について

視察研修について

10月16日 玉川上水旧堀跡の史跡指定について(答申)

博物館建設の建議について

埋蔵文化財包蔵地について

平成3年2月2日 市登録文化財制度の条例化について

② 研修の実施

昭和63年8月23日～24日

千葉県内の各市の文化財保護行政の推進状況及び博物館等の普及活動について研修しました。

③ 玉川上水旧堀跡の市史跡指定に関する審議

平成2年10月16日に開催された審議会において、平成2年8月21日付け福教社発第507号で諮問された（別紙諮問文書）市内玉川上水旧堀跡二ヶ所に対し、市史跡として指定するよう答申することが決定されました。（別紙答申文書）

（別紙諮問文書）

福教社発第507号

平成2年8月21日

福生市文化財保護審議会

会長 島 田 宇 一 殿

福生市教育委員会

委員長 木 村 和 男

福生市指定文化財の指定について（諮問）

福生市文化財保護条例第三十九条の規定に基づき、福生市文化財の指定について、別紙調書を添付し、次のとおり諮問します。

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 玉川上水開削工事跡 | 福生市指定史跡 |
| 2. 玉川上水旧堀跡 | 福生市指定史跡 |

(別紙答申文書)

福教社発第619号

平成2年10月6日

福生市教育委員会

委員長 木村 和男 殿

福生市文化財保護審議会

会長 島田 宇一

福生市文化財の指定について(答申)

平成2年8月21日付け、福教社発第507号で諮問のあったこのことについて、福生市指定史跡とするよう、次のとおり答申します。

1. 玉川上水開削工事跡

2. 玉川上水旧堀跡

6. ふっさ環境芸術七人展

市制20周年事業及び景観事業として「輝く街福生」を目指し、市内在住の7人の彫刻家の参加により、芸術文化の振興と街角にうるおいと、美しさの定着を求め実施する。

主催

福生市、福生市教育委員会

期日 平成2年5月26日(土)～平成2年6月3日(日)

場所 多摩川中央公園(イベント広場)

出席者

阿子島 学 福生市福生2219 サンハイツD-10

鹿住 能弘 " 福生2308

合津 真治 " 熊川1114 福生ハイツP-41

武 林 誠	福生市熊川 7 9 7
中 沢 潮	" 福生 6 9 8
中 林 敏 昭	" " 2 1 5 9 - E - 7
林 宏	" 牛浜 6 3

7. 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施設の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の附属機関であり、青少年健全育成に関する総合的施策の樹立について調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見を求める等を行う機関です。

開 催 日	会 議 内 容
平成 2 年 6 月	1. 平成元年度福生市健全育成事業のまとめについて 2. 平成 2 年度福生市健全育成事業（案）について 3. 青少年の善行表彰について 4. 福生市青少年の海外派遣事業について

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において、調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し委員会相互に連絡、協力して社会環境の浄化を図っていく。

開 催 日	会 議 名	会 議 内 容
平成 2 年 4 月	理 事 会	補助金の実績報告書について 視察研修会の実施について
5 月	地 区 委 員 長 会	視察研修（久里浜少年院）

開 催 月	会 議 名	会 議 内 容
平成2年7月	理 事 会 地 区 委 員 長 会	夏休み中の非行化防止について 一声運動について 子供保険について
11月	理 事 会 地 区 委 員 長 会	スポーツ大会の実施について
平成3年2月	理 事 会 地 区 委 員 長 会	青少年問題講演会の実施について 講演会「今だから心を育てる」 講 師 萩 本 悦 久
3月	理 事 会 地 区 委 員 長 会	平成元年度補助金の実績報告書について 平成2年度事業計画（案）について " 補助金の申請について " 視察研修について

平成 2 年 度 青 少 年 問 題 地 区 委 員 会 実 績

地 区 名	委員数	児 童 生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の	委員会 開催数	活動数	計	参 加 延人数	事業費	補助金	その他
熊 川 住 宅	6	191	ラジオ体操、芋堀り大会、もちつき大会他	3	6	9	894	107,329	65,330	41,999
南	15	87	バーベキュー、もちつき大会他	4	10	14	504	165,409	47,180	118,229
内 出	11	165	ラジオ体操、歩け歩け大会、もちつき大会他	4	9	13	955	140,035	60,800	79,235
武 蔵 野	26	131	ラジオ体操、いも煮会他	6	9	15	761	254,478	54,860	199,618
福 東	15	349	非行化防止パトロール、ソフトボール大会他	3	7	10	1,484	92,900	92,900	0
南田園1丁目	25	176	ハイキング、草花の植栽他	4	13	17	1,085	128,559	62,710	65,849
鍋 1	14	309	講演会、キャンプ他	3	7	10	550	140,000	85,920	54,080
鍋 2	25	402	花火大会、餅つき大会他	28	23	51	2,600	422,572	102,150	320,422
玉 川 台	12	32	ラジオ体操、夏祭り他	8	10	18	487	73,271	37,590	35,681

地 区 名	委員数	児 童 生徒数	地区活動の主なもの	委員会 開催数	活動数	計	参 加 延人数	事業費	補助金	その他
富 士 見 台	8	18	ラジオ体操、遠足他	5	9	14	465	83,600	35,140	48,460
福 栄	13	99	ラジオ体操、カレーパーティ他	4	12	16	705	374,300	49,280	325,020
熊 牛	24	321	ハイキング、歩け歩け大会他	4	13	17	2,240	519,000	88,020	430,980
南田園3丁目	22	123	夏祭り、ラジオ体操他	4	6	10	562	97,836	53,470	44,366
牛 1	21	132	講演会、ハイキング、ラジオ体操他	6	16	22	871	136,529	55,040	81,489
牛 2	23	213	ハイキング、ゲーム大会他	5	16	21	1,660	238,500	69,170	169,330
原ヶ谷戸	20	403	運動会、いも煮会他	8	10	18	1,240	182,330	102,330	80,000
志 茂 1	25	254	盆踊り、ラジオ体操他	5	10	23	1,609	110,000	76,330	33,670
志 茂 2	24	189	遠足、キャンプ川遊び、スケート大会他	6	14	20	1,846	1,312,300	64,980	1,247,320
本 町 1	11	23	親子ハイキング、いも掘り大会他	3	14	17	393	204,343	36,020	168,323

地 区 名	委員数	児 童 生徒数	地区活動の主なもの	委員会 開催数	活動数	計	参 加 延人数	事業費	補助金	その他
本 町 2	20	42	ラジオ体操、川あそび大会他	5	15	20	240	177,800	39,330	138,470
本 町 3	14	40	親子ハイキング、球技大会他	5	12	17	635	138,000	38,980	99,100
中 央	15	23	球技大会、ラジオ体操他	6	15	21	399	200,000	36,020	163,980
本 町 6	22	54	川遊び、もちつき大会他	5	11	16	831	501,393	41,430	459,963
本 町 7	20	257	盆踊り大会、バーベキュー大会他	5	13	18	1,121	139,500	76,850	62,650
本町 8 第 1	19	372	球技大会、もちつき大会、スケート大会他	8	17	25	2,325	495,000	96,920	398,080
本町 8 第 2	26	265	遠足、盆踊り大会、もちつき大会他	10	14	24	2,368	547,663	78,250	469,413
武 蔵 野 台 1 丁 目	24	335	ラジオ体操、運動会、球技大会他	4	15	19	802	505,702	90,460	415,242
加美平住宅	20	342	青空コンサート、いも煮会他	4	10	14	730	349,400	91,680	257,720
永 田	6	115	運動会、いも掘り大会、ハイキング他	5	12	17	898	278,500	52,770	225,730

地区名	委員数	児童 生徒数	地区活動の主なもの	委員会 開催数	活動数	計	参加 延人数	事業費	補助金	その他
長 沢 1	22	85	ラジオ体操、親子運動会、お楽しみ会他	4	8	12	571	285,000	46,940	238,160
長 沢 2	18	58	親子運動会、キャンプ大会、お楽しみ会他	4	8	12	561	285,000	42,120	242,880
加 美 1	14	67	ハイキング、納涼大会他	5	11	16	443	71,100	43,690	27,410
加 美 2	25	375	ラジオ体操、ハイキング大会他	5	14	19	2,598	201,245	97,440	103,805
合 計	3,203	6,051		188	378	585	35,433	8,958,594	2,112,000	6,846,594

(3) 平成2年度青少年対策事業

① 社会教育課、体育館

○家庭の日推進事業

○一声運動

○青少年の社会参加活動推進事業

○青少協だより(5月、8月、12月、3月)

○青少年問題講演会(2月23日 講師 萩原悦久)

○青少年問題地区委員長会視察研修(神奈川県久里浜少年院)

○家庭の日 図画、作文募集(夏休み期間 図画176点 作文(小学生38点、
中学生14点)

○善行少年表彰(市立第一中学校 ボランティクラブ)

○子供自然観察会(8月20日 富士山39名)

○各種運動(家庭の日 一声運動) チラン配布

○水泳教室(小、中学生、身障者) 4回 97名

○小学生バレーボール教室 49回 919名

○小学生バスケット教室 28回 332名

○小学生バドミントン教室 50回 1,217名

○幼児体操教室 22回 823名

○親子スポーツ教室 22回 804名

○小学生エンジョイ体操教室 28回 423回

② 市民会館、公民館

○子供サバイバル教室 9回 144名

○たんけん教室 17回 240名

○子供将棋教室 7回 56名

○自然観察会 10回 307名

③ 図書館

○なつやすみおもしろ実験室 3回 149名

○垂石真子絵本原画展 504名

○クリスマス会	3回	596名
○おはなし会	121回	3,311名
○子供映画会	9回	977名

(4) 地区活動への援助

① 補助金

○地区委員長会への補助金	33地区	2112,000円
○青少年の社会参加	33地区	99,000円

② その他の援助

- 事務的援助（コピー、印刷等）
- 各種大会等の開催援助（野球用具、レクリエーション、備品等の貸出し）
- 講演会、研修会の開催援助（講師の紹介、会場の確保）

8. 青少年海外派遣事業

青少年を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し人々と交流することによって、相互理解を深め将来、国際的な視野に立って活躍出来る人材の育成を図っていく。

(1) 応募資格

- 日本国籍を有し平成2年4月1日現在において、福生市に引き続き1年以上居住していること。
- 学校教育法に基づく中学校に在学していること。
- 心身共に健康で協調性に富み規律ある団体生活が出来ること。
- 派遣生としての体験を生かして、帰国後も地域や学校において活発な活動が出来ること。
- 保護者の承認が得られること。

(2) 応募方法及び申込期間

写真を添付し原稿用紙（400字詰）2枚以内に作文題「参加の動機について」を書いて申し込む。

平成2年4月15日 ～ 平成2年5月11日（金）

(3) 応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
市立第一中学校	7	18	25
市立第二中学校	7	25	32
市立第三中学校	4	11	15
私 立 中 学 校	1	7	11
計	23	61	82

(4) 派遣生選考結果

中学生10名(男子3名、女子7名)

(5) 派遣日程

7月26日(木)～ 8月9日(木)

(6) 派遣先

アメリカ合衆国、アラバマ州、アセンズ市他

(7) 帰国報告会

平成2年11月17日(土)

市役所3階会議室

9. 集会施設の利用状況

扶桑会館利用状況

月	区分	集会室		和室		会議室		合 計		
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	使用料
										件数 金額
4		21 ^件	422 ^人	19 ^件	231 ^人	18 ^件	185 ^人	58 ^件	838 ^人	16 ^件 17,700 ^円
5		32	887	23	282	19	206	74	1,375	17 18,800
6		30	621	24	450	21	315	75	1,386	14 14,900
7		31	878	21	358	17	129	69	1,365	15 15,300
8		27	494	17	244	15	135	59	873	10 9,600
9		28	545	29	407	16	162	73	1,114	20 25,100
10		27	801	26	290	14	135	67	1,226	18 16,700
11		31	633	22	308	20	191	73	1,132	25 26,600
12		20	484	19	266	11	107	50	857	7 7,000
1		35	1,000	31	604	14	191	80	1,795	19 25,700
2		30	687	24	343	22	193	76	1,223	29 31,300
3		32	999	30	404	24	187	86	1,590	28 32,000
合 計		344	8,451	285	4,187	211	2,136	840	14,774	218 240,700

月平均 70件 1,231人

か え で 館 利 用 状 況

区分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	件	人	件	人	件	人	件	人	使 用 料	
	数	数	数	数	数	数	数	数	件 数	金 額
4	29	528	32	448	7	85	68	1,061	26	21,900
5	35	544	20	294	20	256	75	1,094	34	33,000
6	49	1,020	34	616	14	310	97	1,946	39	33,900
7	31	483	26	377	3	30	60	890	27	25,200
8	50	676	29	450	14	226	93	1,352	39	30,300
9	44	892	33	584	9	137	86	1,613	37	38,800
10	43	887	30	417	7	85	80	1,389	33	27,300
11	36	778	28	389	10	135	74	1,302	29	27,900
12	19	259	16	169	4	37	39	465	21	18,600
1	34	540	39	439	8	76	81	1,055	26	23,100
2	35	680	30	372	5	53	70	1,105	29	24,600
3	44	762	29	411	10	167	83	1,340	31	25,500
合 計	449	8,049	346	4,966	111	1,597	906	14,612	371	330,100

月平均 75.5件 1,217人